



進路だより No.6

令和5年10月
県立尼崎西高等学校
学習支援部

体育大会と中間考査が終わりました。体育大会では、みなさんが一生懸命に取り組む姿を見ることができて、嬉しく思います。そのパワーをぜひ進路実現にもぶつけてほしいと思います。今月は大学や専門学校への出願方法についてまとめます。分からなければ担任に相談し、ミスなく出願して合格を勝ち取りましょう！



尼西応援キャラクター
あまエッコ君

<<出願の流れについて>>

(1) 学生募集要項（または入学試験要項）を取り寄せよう

受験に関する情報は各校の「学生募集要項」に記載されている。「入試ガイド」は学生募集要項の内容の一部を抜粋したものであるため、出願の際は必ず「学生募集要項」を確認しよう。

例：大阪経済大学の学生募集要項 <https://www.osaka-ue.ac.jp/entrance/admissions/>



上記の例のように「学生募集要項」のPDFデータは各校のホームページで閲覧やダウンロードができるが、必ず学生募集要項の冊子を手元に取り寄せておこう。資料の取り寄せは各校のホームページか、次のサイトから行うことができる。

参考：テレメール進学サイト <https://telemail.jp/shingaku/contents/index.php>



(2) 学生募集要項（入学試験要項）を熟読しよう

①試験日程…併願校の試験日程も確認し、3日以上入試が連続しないように受験スケジュールを立てよう。第1志望校（チャレンジ校）のみではなく、実力相応校や安全校にも出願することが望ましい。

②入試方式…取得資格を利用する方式など自分にとって最も有利な方式を選ぼう。複数方式を併願することで合格のチャンスを増やすことができるが、その分受験料もかかるため、保護者とよく相談して決定すること。基本的に一度の試験につき、3万5千円の検定料がかかるが、二度目以降の出願で検定料の割引があったり、複数の判定方法で合否判定を希望する場合に追加で検定料が必要になったりと、学校によって様々だ。学生募集要項をよく確認し、入試方式を決定しよう。

③入試科目…2科目受験と3科目受験を比べ、安易に2科目受験を選ぶのではなく、「入試ガイド」で合格最低点や倍率なども確認したうえで受験科目数を決定しよう。

④併願か専願か…第1志望校以外の学校を受験する場合は必ず併願で出願できる入試方式を選ぼう。もし専願で受験してしまうと、合格した場合、必ず入学しなければならない。

⑤出願期間…出願の際は学生募集要項（願書）の取り寄せ、書類の作成、受験料の振り込み、書類の郵送

を行わなければならない。推薦書や調査書は担任の先生が作成し、それ以外の出願書類は生徒本人が作成する。書類の作成には時間がかかるため、推薦書は出願書類を郵送する日の2週間前まで、調査書は1週間前までに担任の先生に依頼しよう。また受験料の振り込みや書類の郵送は各自で行う必要がある。必着か消印有効かをしっかり確認し、時間に余裕をもってミスなく行うこと。

⑥合格発表日と入学手続き締切日…複数校を併願する場合は合格発表日と入学手続き締切日を確認しよう。第1志望校の合格発表日が、第2志望校の入学手続き締切日より後にある場合は要注意！第2志望校をすべり止めとして確保したい場合は、入学金等を支払う必要がある。期限内に手続きを行わなければ合格が無効になってしまうからだ。無駄なお金を出さないためにも上記の日程をよく確認すること。

(3) インターネット出願について

現在多くの学校がインターネット (Web) 出願を採用している。出願手続きは、出願ページでの出願登録、受験料の振り込み、必要書類の郵送の3つを期限内に行うことで完了する。インターネットですぐできるからと油断せず、時間に余裕をもって行動しよう。また保護者に入力を任せて、志望学部や受験科目を間違える受験生も多い。ミスを防ぐためにも出願手続きは必ず自分自身で行うこと。以下では、インターネット出願の主な流れについて説明する。

①会員登録…出願手続きは各校のホームページの出願用ページから行う。学校によっては受験ポータルサイトへの会員登録が必要になる。登録にはメールアドレスが必要。

②志望情報の入力…学生募集要項 (入学試験要項) の説明を見ながら、志望の学部・学科、入試方式、受験科目等を選ぼう。

③写真の登録…顔写真を登録する。加工写真や、正面を向いていないもの、背景が無地でないものなどは不適切。受験本番で眼鏡をかけて受験する場合は、顔写真も眼鏡をかけて撮影しよう。

④受験料の振り込み…画面に表示された受験料を保護者と確認し、決済方法の選択に進もう。コンビニ支払いやクレジットカード決済など、様々な決済方法がある。

⑤書類の郵送…必要書類を学校の指定する送付先に郵送する。「宛名ラベル」を印刷し、各自で用意した封筒の表面に貼る。封筒の中には、高校から発行された調査書等 (厳封されているので絶対に開けないこと！開封されると無効になる！)を入れる。また外部検定利用入試の場合は合格証明書等を同封する。書類の準備ができたなら、郵便局の窓口に行って「簡易書留」(学校によっては速達)で送ろう。

出願が終わると学校から受験票が送られてくる。(自分で印刷する場合もある。)試験当日に忘れずに持参するため、絶対に無くさない場所に保管しておこう。

<<就職者へ>>

みなさん就職試験お疲れさまでした！社会人としてのスタートラインに立ちました。あと半年後には社会人です。右も左も分からない中、日々様々なことを学び取りながら前進していくしかありません。残りの学校生活も手を抜くことなく、日々成長してください。社会人としてのマナーを学ぶため、また宿題を出しますね！！

